

まちづくりの目標	4	暮らしにやさしく笑顔があふれるまち
政策	3	誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします
施策	4	安心して介護を受けながら生活できるまちにします
		担当部(統括部) 保健福祉部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
介護度が軽度の人ができるだけ施設に入所することなく、住み慣れた居宅で安心して暮らし続けることができるようになっています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	必要な住宅改修を行っている	必要な改修が行われた住宅が増えている	必要な改修が行われた住宅がさらに増加している	多くの既存の住宅に必要な改修が行われている	既存の住宅に必要な改修がなされ、新たに高齢者向けの住宅が整備されている	介護度が軽度の方が居宅で住み続けることができる環境が整っている
実績	目標の通りの姿を実現できた					
施設は、必要度の高い人がいつでも利用できるようになっています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	特養に介護度が軽度の方が半数程度入所し、必要性の高い待機者が75人となっている	軽度入所者が減り、重度入所者の割合が高くなっている	軽度入所者がさらに減少し、重度入所者の割合が7割近くなっている	新たな施設が整備され、待機者が減少するとともに重度入所者の割合が約7割を占めている	待機者は減少し、重度入所者の割合が7割以上を占めている	待機者は解消され、重度入所者の割合が7割以上を占めており、軽度者は居宅で生活できるような環境が整っている
実績	目標の通りの姿を実現できた					
介護予防に対する理解が深まり、取組みが充実することによって、要介護認定を受ける人の割合が低くとどまり、保険給付と保険料や公費負担が抑制されて、制度が安定して健全に運営されています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	通所型介護予防教室や介護予防講座などを実施している	介護予防に関心を持つ市民が増え、教室などの参加者も増加している	継続して介護予防に取り組む市民が増え、地域で取り組む機運が高まっている	地域ぐるみで介護予防に取り組む体制が整っている	多くの市民が介護予防に関心を持ち、地域ぐるみで取り組んでいる	多くの市民が介護予防に関心を持ち、日頃から地域ぐるみで取り組むことで、要介護認定率が下がっている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標											
	目標	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
施設・居住系サービスの利用率	目標	—	—	—	—	33.3%	34.2%	33.8%	33.6%	33%	37%以下
	実績	38.5%	34.7%	34.4%	33.1%	35.1%					
施設における重度者の利用率	目標	—	—	—	—	56.6%	56.5%	63.4%	70.1%	70%	70%以上
	実績	52.9%	52.8%	52.4%	50.0%	49.3%					
65歳以上人口に占める要介護認定率	目標	—	—	—	—	15.0%	15.7%	16.3%	16.8%	16.7%	16.7%以下
	実績	14.7%	14.4%	14.2%	15.1%	14.4%					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎介護保険制度の適正・円滑な運営		平成25年度事業費計				
		2,024千円				
信頼のある制度として持続可能なものとするため、保険給付の適正化に取り組めます。						
平成25年度事業	せつつ高齢者がかがやきプラン策定事業402千円・介護給付適正化事業1,622千円(高齢介護課)					
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	高齢者がかがやきプランの見直し	高齢者がかがやきプランの見直し	高齢者がかがやきプランに基づく事業の実施	高齢者がかがやきプランの見直し	高齢者がかがやきプランに基づく事業の実施	高齢者がかがやきプランの見直し
取組実績	第5期せつつ高齢者がかがやきプラン策定のため、かがやきプラン推進会議の開催のほか、アンケート調査やパブリックコメントを実施した。					
成果	第5期せつつ高齢者がかがやきプランを策定した。					
次年度課題	第5期せつつ高齢者がかがやきプランに基づき事業を実施する。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	訪問介護計画の点検と給付適正化計画の見直し	給付適正化計画に基づく事業の実施	給付適正化計画に基づく事業の実施	給付適正化計画の見直し	給付適正化計画に基づく事業の実施	給付適正化計画の見直し
取組実績	第2期大阪府介護給付適正化計画と整合性を図りながら、第2期摂津市介護給付適正化計画の検討を行った。					
成果	第2期摂津市介護給付適正化計画を策定した。					
次年度課題	第2期摂津市介護給付適正化計画に基づき事業を実施する。					
計画	権限移譲に関する研究	権限移譲の検討・決定				
取組実績	他市町村の状況を確認し、現状において移譲事務の実施が可能か検討を行った。					
成果	事務量と現状の人員配置から権限委譲は困難と判断した。					
次年度課題	他市町村の動向を見ながら、引き続き調査研究を行う。					
計画	事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の実施	事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の充実	事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の充実	事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の評価	事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の実施	事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の評価
取組実績	事業者連絡会各部会に参加し、助言や情報提供を行った。また、事業者連絡会などとの協働事業として、介護の日のイベントを実施した。					
成果	事業者連絡会各部会に参加により、介護給付の適正化と介護サービスの質の向上を図ることができた。また、事業者連絡会など協働で介護の日のイベントを実施することで、制度の周知が図れたとともに、事業者連絡会との連携が強化された。					
次年度課題	法改正などの事業者連絡会への情報提供と事業者連絡会と協働で介護の日のイベントを継続して実施する。					

◎地域における支援体制の充実 平成25年度事業費計
619千円

介護予防や介護度悪化防止のためのケアマネジメントを充実するとともに、地域での自主的な介護予防活動を支援します。また、認知症になっても安心して暮らせるよう、家族を含めた支援体制を整備します。

平成25年度事業 地域介護予防活動支援事業350千円・認知症・介護支援事業269千円(高齢介護課)

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	健康づくりグループの交流会の実施	自主グループ支援の拡充	自主グループ支援の拡充	支援策の評価・改善策の検討	支援策の拡充	支援策の評価・改善策の検討
取組実績	関係団体と連携を図り、健康づくりグループ交流会(1回)を開催、参加グループが増加しているため、今年度より開催時間を拡充した。					
成果	健康づくりグループ交流会において、他のグループの前で活動発表する機会がある事を意識してもらうことで日々の活動意欲向上につながった。					
次年度課題	現在の発表形式での交流会のメニューに加え、参加者全員で取り組めるような健康づくりについてのプログラムが実施できないか検討を行う。また、新たな健康づくりグループの参加促進を図る。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	いきいき体操の会への支援	ボランティアグループ支援の拡充	ボランティアグループ支援の拡充	支援策の評価・改善策の検討	支援策の拡充	支援策の評価・改善策の検討
取組実績	いきいき体操の会と協働で老人クラブ等の体力測定を2回実施した。また、自主グループ等へ体操DVD等のグッズを15団体に貸出した。					
成果	いきいき体操の会の主体的な活動が広がった。自主グループによる物品の貸出希望が多く、また貸出期間も延び、自主グループの活動が活発となった。					
次年度課題	いきいき体操の会の活動拡充に向けた支援方法の検討を行う。					
計画	認知症支援ボランティアグループの育成	ボランティアグループ支援の拡充	ボランティアグループ支援の拡充	支援策の評価・改善策の検討	支援策の拡充	支援策の評価・改善策の検討
取組実績	認知症支援ボランティアグループの活動場所の確保のため、市内の介護保険事業所と連携を図った。					
成果	市内事業所でのボランティア活動実施など具体的な展開がみられている。					
次年度課題	各地域にボランティアグループ支援拠点を設定できるように、ボランティアグループを増やしていく必要がある。					
計画	介護者家族の会による相談事業の実施	相談事業実施のための支援の拡充	相談事業実施のための支援の拡充	支援策の評価・改善策の検討	支援策の拡充	支援策の評価・改善策の検討
取組実績	社会福祉協議会と連携して介護についての悩みごと等について相談ができる「電話による介護相談」「あったかコール」を実施した。					
成果	相談をきっかけに必要な福祉サービスへのつなぎを行うことができた。					
次年度課題	「電話による介護相談」「あったかコール」の取り組みをより一層周知していく必要がある。					

○介護予防の推進	平成25年度事業費計 6,846千円
----------	-----------------------

既存の福祉サービスや「ふれあいサロン活動」、地域住民組織での自主活動などとの連携を進め、効果の高い介護予防や健康づくり施策を展開します。

平成25年度事業	通所型介護予防事業2,075千円・二次予防対象者把握事業3,108千円・介護予防普及啓発事業1,224千円(高齢介護課) 健康教育事業439千円(保健福祉課)
----------	--

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	効果的な介護予防・健康づくり施策の研究	新たな介護予防・健康づくり施策の実施	介護予防・健康づくり施策の拡充	介護予防・健康づくり施策の評価・改善策の検討	介護予防・健康づくり施策の拡充	介護予防・健康づくり施策の評価・改善策の検討
取組実績	老人クラブ等の地域住民組織と連携しながら、はつらつ元気アップ教室(5会場で実施、全8回講座)を開催した。					
成果	老人クラブと連携して開催することで自主グループになった後も参加者が増えたり、広がりをみせている。					
次年度課題	引き続き、教室の開催地や参加促進の方策についての検討を行う必要がある。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	ふれあいリハサロンに理学・作業療法士や保健師等の専門職が参画し、効果的な実施方法を研究	ふれあいリハサロンに新たな方法を盛り込み、地域と相談して実施	ふれあいリハサロンの実施	ふれあいリハサロンの評価・改善策の検討	ふれあいリハサロンの実施	ふれあいリハサロンの評価・改善策の検討
取組実績	日々の生活に取り入れることができるような体操を紹介、実施した。また、健康づくりに有用な情報を、タイムリーに発信した。各サロンでの取り組みを情報交換した。					
成果	健康づくりに有用な情報発信や体操方法について、各地区のリハサロンで取り入れることができた。					
次年度課題	新たに効果的な体操方法や健康づくりに有用な情報についての検討・導入を行う。参加者数・男性参加者数の増加を図るための検討を行う。					

○介護保険サービスの確保と福祉サービスの利用促進	平成25年度事業費計 11,569千円
--------------------------	------------------------

介護保険サービスの確保を図るとともに、介護保険サービスを補完する各種福祉サービスの利用を一層促進します。また、制度周知や相談支援体制の充実、事業者への助言指導の充実を図ります。

平成25年度事業	せつつ高齢者かがやきプラン策定事業402千円・介護保険啓発事業13千円・高齢者移送サービス事業11,154千円(高齢介護課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	高齢者かがやきプランの見直し	高齢者かがやきプランに基づく事業の実施	高齢者かがやきプランに基づく事業の実施	高齢者かがやきプランの見直し	高齢者かがやきプランに基づく事業の実施	高齢者かがやきプランの見直し
取組実績	第5期せつつ高齢者かがやきプラン策定のため、かがやきプラン推進会議の開催のほか、アンケート調査やパブリックコメントを実施した。					
成果	第5期せつつ高齢者かがやきプランを策定した。					
次年度課題	第5期せつつ高齢者かがやきプランに基づき事業を実施する。					
計画	各種福祉サービスの再構築の検討	移送サービスの福祉車両を1台増	各種福祉サービスの実施	各種福祉サービスの再構築の検討	各種福祉サービスの再構築の実施	各種福祉サービスの再構築の検討
取組実績	近隣各市に同様事業の実施状況等について調査を行った。					
成果	他市の状況や本市でのニーズの高いサービスを把握することができた。					
次年度課題	事業内容を精査し、より効果的な事業を検討する。					
計画	効果的な広報・相談体制の検討	広報・相談体制の拡充	広報・相談体制の拡充	広報・相談体制の見直し	広報・相談体制の拡充	広報・相談体制の見直し
取組実績	福祉施策や地域の取り組みをいち早く周知するため地域福祉通信を発行した。					
成果	広報だけでは伝えられない福祉の取り組みを、地域に広く発信できた。					
次年度課題	新たな周知方法について検討する。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	権限移譲に関する研究	権限移譲の検討・決定	事業者指導体制の拡充	事業者指導体制の評価	事業者指導体制の拡充	事業者指導体制の評価
取組実績	他市町村の状況を確認し、現状において移譲事務の実施が可能か検討を行った。					
成果	事務量と現状の人員配置から権限委譲は困難と判断した。					
次年度課題	他市町村の動向を見ながら、引き続き調査研究を行う。					

○高齢者の尊厳と自立支援	平成25年度事業費計 1,622千円
--------------	-----------------------

虐待防止のため、関係機関によるネットワークを強化するとともに、閉じこもりや孤立死防止のため、地域住民組織や地域住民と連携を図ります。また、成年後見制度などの普及啓発を図ります。

平成25年度事業 高齢者権利擁護事業1,622千円(高齢介護課)

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催	ネットワークの拡充	ネットワークの拡充	ネットワークの見直し	ネットワークの拡充	ネットワークの見直し
取組実績	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催(代表者会議、実務担当者会議、ネットワーク連絡会)において、虐待が疑われる事例について、関係者が集まり情報収集・共有を行い、対応についての協議を行った。					
成果	会議開催により、適切な虐待事例へ対応するとともに、関係機関との連携の強化を図ることが出来た。					
次年度課題	児童や女性、障害の分野とも連携を図っていく必要がある。					
計画		あらゆる分野の虐待防止関係機関が参画する庁内ネットワークによる虐待防止の啓発及び対応の実施	庁内ネットワークによる虐待防止の啓発及び対応の実施	庁内ネットワークによる虐待防止の啓発及び対応の実施	庁内ネットワークによる虐待防止の啓発及び対応の実施	庁内ネットワークによる虐待防止の啓発及び対応の実施
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画		ケース会議への在宅高齢者虐待対応専門職チームの派遣	ケース会議への在宅高齢者虐待対応専門職チームの派遣	ケース会議への在宅高齢者虐待対応専門職チームの派遣	ケース会議への在宅高齢者虐待対応専門職チームの派遣	ケース会議への在宅高齢者虐待対応専門職チームの派遣
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	成年後見制度の実施	成年後見制度の普及啓発活動の拡充	成年後見制度の普及啓発活動の拡充	成年後見制度の普及啓発活動の見直し	成年後見制度の普及啓発活動の拡充	成年後見制度の普及啓発活動の見直し
取組実績	成年後見制度の周知を行うとともに、第3者による権利擁護や支援が必要な方の成年後見市長申立を行った。					
成果	市長申立を行うことで申立をする人のいない高齢者の権利を守ることができた。					
次年度課題	市長申立を含め、成年後見制度についてより一層の周知を図る必要がある。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

介護相談員の派遣						平成25年度事業費計 942千円
ボランティアによる「介護相談員」を市内の全入所・通所施設に派遣して、利用者の疑問や不安の解消とサービスの質の向上を図ります。						
平成25年度事業	介護相談員派遣事業942千円(高齢介護課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	新規事業所への派遣開始、相談員の増員などの拡充	事業の拡充	事業の拡充	事業の拡充	事業の拡充	事業の見直し
取組実績	介護サービス利用者の相談等に応じるため、相談員(12人)を施設・通所介護事業所(19箇所)に派遣した。					
成果	相談員が事業所に出向き利用者の相談に応じるとともに、事業所の設備、職員の対応等に対する気づきや提案を行うことで、介護サービスの質の向上が図れた。					
次年度課題	平成24年度新たに事業を開始する事業所への派遣を行う。					

認知症サポーターの養成						平成25年度事業費計 269千円
認知症の人と家族を見守り・支援する、市民による「認知症サポーター」と、その講師役となる「認知症キャラバンメイト」の養成を行います。						
平成25年度事業	認知症・介護支援事業269千円(高齢介護課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	サポーター1,000人体制のための講座の実施、ボランティアの育成のための講座の実施	サポーター2,500人体制のための講座の実施、ボランティアグループの育成支援	サポーター2,500人体制のための講座の実施、ボランティアグループの育成支援	サポーター2,500人体制のための講座の実施、ボランティアグループの育成支援	サポーターを人口の3%にするための講座の実施、ボランティアグループの育成支援の拡充	サポーターを人口の5%にするための講座の実施、ボランティアグループの育成支援の拡充
取組実績	認知症について正しい知識の啓発をするため、サポーター養成講座を14回開催した。また、認知症の方や家族への支援について啓発するために、ボランティアグループ養成講座(全6講座)を開催した。					
成果	サポーター養成講座には397人の方に認知症について正しい知識を習得していただくことができた。認知症サポーターは1,347人となった。また、ボランティアグループ養成講座には30人の参加があり、認知症の理解を深めボランティアグループの必要性が認識された。					
次年度課題	引き続き認知症についての正しい理解を広める。また、各地域にボランティアグループ支援拠点を設定できるように、ボランティアグループを増やしていく必要がある。					
計画	認知症キャラバン・メイトの育成	認知症キャラバン・メイトの拡充	認知症キャラバン・メイトの拡充	認知症キャラバン・メイトの拡充	認知症キャラバン・メイトの拡充	認知症キャラバン・メイトの拡充
取組実績	福祉関係課に所属する認知症キャラバンメイトでローテーションを組み、サポーター養成講座で講師を務めることで、技術向上を図った。					
成果	認知症キャラバンメイトの技術向上につながった。また、市民へより深い啓発を行うことができた。					
次年度課題	新たなキャラバンメイトの育成及びスキルアップを図る必要がある。					